



●CONTENTS

巻頭言	2
琵琶湖周辺の内湖	3
ビオトープの取り組みが生きものを救う	9
21世紀型海外ツアー(シンガポール・エコツアー)を終えて	15
「美しい自然」の編集を振り返って思うこと	17
財団のひとりごと	19

編集後記

今年の夏は例年になく猛暑で多くの人が涼を求めて琵琶湖にやってきました。その人達は美しい琵琶湖の景観に感激し、水と戯れ、親しみ、一時の清涼感と生きている幸せを実感したにちがありません。

その人達の一部の人が湖岸に捨てたゴミは、琵琶湖の景観や環境を害しています。

その弊害を一番よく知っているのは、誰よりも琵琶湖自身ではないでしょうか、琵琶湖自身は言葉では何も言いません。しかし、今日起こっている淡水赤潮、アオコや藻の大量発生等、様々な現象が危機感を訴えています。その無言の言葉を聞ける耳を持つ人が一人でも多く存在することを願ってやみません。

「残すのは足跡だけ、取ってくるのは写真だけ、持って帰るのは思い出だけ」という自然との関わり方を聞いたことがあります。

自分が味わった満足感を、自分より後に来る人達に同じように味わってもらうためには、自分だけ良ければよいという利己主義的な考えを排除できる人間性が求められています。

ところで、当財団では今回新しく機関誌「明日の淡海」を発行しました。

新しい機関誌「明日の淡海」では環境問題に対する財団の考えを分かりやすく親しみやすく読者に伝える情報提供誌をめざしています。

また、機関誌「明日の淡海」が環境を守り、自然との共生をめざす人々との良きパートナーになりたいと思います。

原稿の募集について

機関誌「明日の淡海」では、環境や自然に関心のある方々の意見・提言等を募集しています。

- ・ 環境問題に対する考えや環境施策への意見・提言等
- ・ 環境に優しい暮らしにつながる意見・提言等
- ・ 美しい自然や自然保護に対する意見・提言等

※採用分には薄謝進呈

※当財団まで郵送・EメールまたはFAXでお送り下さい。

発行

財団法人 淡海環境保全財団

〒520-0807 大津市松本一丁目2番1号

滋賀県大津合同庁舎内

TEL. 077-524-7168

FAX. 077-524-7178

Eメール ohmi9@mx.biwa.ne.jp

ホームページ <http://www.biwa.ne.jp/~ohmi9/>

印刷 宮川印刷株式会社